

ひと☆人

議会広報常任委員が、「広聴」活動として、吉岡町で活躍している「ひと」にインタビューをします。



文化財センター前で富岡委員と

文化財を多くの人に 知ってほしい

吉岡町文化財センター

文化財専門指導員 **白石光男** さん

インタビュー：富岡 栄一（議会広報常任委員会委員）

——吉岡町文化財センターとは。

白石さん 平成30年八幡山グラウンドの南側にオープンしました。事務所・展示室・収蔵庫からなっています。特に展示室では、吉岡町指定文化財や発掘調査で見つかった土器や古墳の埴輪などが分かりやすく展示されています。また、子どもたちの体験学習の場として勾玉作り・ミニ埴輪作りなどの実施や、吉岡町の文化財についての講演会なども行ってきました。吉岡町の文化情報発信の拠点としての役割を推進している施設です。

——どのようなお仕事をされているのですか。

白石さん 主な仕事は、開発に伴う試掘調査や発掘調査などがあります。また、文化財センターの見学者に町の文化や文化財を説明したり、パンフレットなどで周知をしています。また、指定文化財や他の文化財について町文化財調査委員と

協力して保護・普及に努めています。その他、南下古墳群や三津屋古墳など現地説明も行っています。

——南下古墳群が、県指定史跡になりましたが今後はどうになりますか。

白石さん 南下古墳群は、専門家の間では有名な古墳群ですが、一般の人にはあまり知られていませんでした。吉岡町指定になり公園化されたことで、見学者などが多くなりました。今回の県指定になったことでさらに注目されることは確実と言えます。今後は、県指定史跡の周知と共に詳細な発掘調査により新たな発見が考えられる中で、国指定史跡を視野に入れた協議がされていくと思われま

す。

——町議会や町政に望むことはありますか。

白石さん 今回の南下古墳群の県指定では、町議会のご支援ありがとうございました。今後の中での協議で、さらなるご支援をお願い

します。また、吉岡町には他にも県指定になってもおかしくない建造物などがあります。文化財センターでは町の文化を感じられる文化財をより多くの町民に知ってもらうための周知を考えていますので、ご協力をお願いいたします。

——町民の皆さんにひとことお願いします。

白石さん 吉岡町は歴史ある町です。特に古墳については県内でも特筆した地域です。全国的にも珍しい八角形の三津屋古墳や南下古墳群などは専門家も注目しています。吉岡町の文化を知るために、ぜひ町文化財センターにお越しください。



県指定史跡になった南下古墳群

編集委員

委員長	富岡 大志	副委員長	藤多 ゆかり	委員	富岡 栄一	宮内 正晴	大井 俊一
	春山 和久		山崎 守人				

編集後記

アフターコロナ元年が過ぎ、新年を迎えました。本年が町民みなさんにとって素敵な1年になりますよう、ご祈念いたします。

(山崎 守人)